

---

---

## 第23回渋沢栄一賞受賞者について (五十音順)

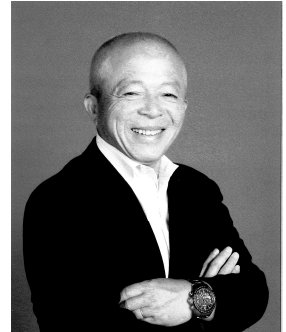
---

---

### ◇須崎 勝茂 (すさき かつしげ) 氏 (73歳)

株式会社丸沼倉庫 (埼玉県朝霞市) 代表取締役社長

※会社概要 不動産賃貸業  
1969年創業 従業員数9人



#### <受賞理由>

(優れた経営)

- ・ 1978年、代表取締役社長に就任。合計床面積3万坪を超える5棟の倉庫を完成させるなど、業容を拡大
- ・ 入居の際の契約年数を長くすることで、安い賃料を実現。さらに、長期契約の中で入居企業の業績が悪いときには賃料を下げるなど、顧客の維持に努め、短いスパンでの利益ではなく、息の長い仕事を通じて利益を確保

(社会への貢献)

- ・ 1985年、若いアーティストの支援を目的に、自身が所有する土地に私財を投じてアトリエを建設し、「丸沼芸術の森」を設立。勉強のための作品を収集し、その結実を復興への思いを込めて展覧会に貸与し、鑑賞の機会を設けている
- ・ コロナ禍で尽力している医療機関や福祉施設などを支援するため、朝霞市に救急車他を寄附。また、能登の震災ではトイレトレーラーを派遣のほか、被災地支援として珠洲焼存続の一助となるべく陶芸機材を寄附

---

---

### ◇八代目 鈴木 與平 (すずき よへい) 氏 (83歳)

鈴与株式会社 (静岡県静岡市) 代表取締役会長

※会社概要 港湾運送業、海上運送業、自動車運送業、倉庫業 他  
1801年創業 従業員数1,146人



#### <受賞理由>

(優れた経営)

- ・ 国内に143拠点を構え、国内トップクラスの物流ネットワークを展開するほか、海外にも13か国22拠点を構える
- ・ 長年独自の物流改革に取り組んでおり、ドライバーの労働負荷や拘束時間を低減するため、中間拠点を起点とした「中継輸送」や、貨物専用フェリー(RORO船)を用いてトラックによる輸送を船舶に転換する「モーダルシフト」を推進

(社会への貢献)

- ・ 1991年、静岡県下初の理工系大学となる「静岡理工科大学」の開学に携るとともに、初代理事長に就任し、未来を担う人材育成を通じて地域の発展に貢献
- ・ 2008年にはフジドリームエアラインズ(FDA)を設立。『地産地翔』を企業理念に掲げ、地方と地方を結ぶ交流の懸け橋として、地方の交流人口を増やし、地域間の結びつきを強化、各地域の文化や経済の発展に大きく貢献

---

---

◇森光 孝雅（もりみつ たかまさ）氏 （60歳）

株式会社八天堂 （広島県三原市） 代表取締役

※会社概要 パン小売業(製造小売)、パン製造業  
1933年創業 従業員数 241人



<受賞理由>

(優れた経営)

- ・ 2008年、冷やして食べる「くりーむパン」を開発。スイーツパンという新たなジャンルを確立したことで、パンの手土産市場という需要を生み出し、現在は1日約7万個を製造
- ・ 企業経営の目的を「人づくり」とし、挑戦した失敗を応援する社風と「品性資本の三方よし経営」を掲げ、社内ベンチャーによる新会社の設立や農業・福祉領域の課題解決に努める

(社会への貢献)

- ・ 2016年、広島空港前に体験型の食のテーマパーク「八天堂ビレッジ」を開業。年間約20万人以上が来場する観光スポットに成長させるなど、地域活性化に貢献
  - ・ 2017年、千葉県木更津市に現地の社会福祉法人与共同で、就労継続支援B型としても機能する「八天堂きさらづ工場」を開始
- 
-